



# すずかけ

No.82  
2016

**特集**

## まちに出かけよう ～みんなの寄合い処～

**巻頭インタビュー**

タレント・ミュージシャン

つるの 剛士 さん ..... 2



**特集**

## まちに出かけよう ～みんなの寄合い処～

ふじのきさん家 ..... 4

キラキラ茶家 ..... 5

みどりコミュニティセンター ..... 6

本所地域プラザ BIG SHIP ..... 6

開催レポート ..... 7

すずかけひろば ..... 7

すみだに暮らす・働く外国人に聞きました  
口コミ！比較文化論 ..... 8

イクメン・カジダン投稿写真 ..... 9

すずかけ インフォメーション ..... 10

**こんにちは すみださん**

オカザキ <sup>やすか</sup> 恭和 さん ..... 12





衣装協力 (株)パッ

# タレント・ミュージシャン つるの剛士さん

心配してもキリがない。  
家族円満の鍵は  
「理解」と「信頼」だと思います。

ご家族について教えてください。

妻と2男3女の子どもの7人家族です。大家族だと言われるんですが、僕自身が4人きょうだいなので、子どもは1人多い5人が目標だったんですよ。

妻との出会いはテレビ番組がきっかけなのですが、初めて会ったときからこの人と結婚したいと

思いましたね。僕と出会った当時の妻は、バリバリ仕事をしていて、とってまかつこよかった。今まで出会った女性とは全然違ったんですよ。きっと良いお母さんになる！と確信していたので、出会って3か月でプロポーズしました。

子育てのモデルは自分の両親です。僕は銀行員の父と専業主婦の母のもとで育ったのですが、両親にももらった1番大切なものは「とうちゃんとかあちゃんの子どもだから大丈夫！」という根拠のない自信だと思っています。両親のことは本当に尊敬しているの、子どもにもそう思ってもらえるよう、かつこいい背中を見せながら育てたいですね。

ご自身の育児休業取得が話題になりましたよね。

実は、長男が生まれた時から育児を取りたいな、と思っただけなんです。でも

## profile つるの剛士 Takeshi Tsuruno

1975年、北九州市生まれ。「ウルトラマンダイナ」出演後、2008年に「羞恥心」を結成し、人気を博す。2009年にリリースしたアルバムでオリコン1位を記録して以来、精力的に音楽活動を行っている。趣味は将棋、釣り、楽器、サーフィン、野菜作りなど幅広い。2男3女の父親で、ベスト・ファーマー賞やイクメンオブザイヤーなど受賞歴多数。

当時は仕事が忙しすぎて。このままじゃ良くないなあと思っていて頃に、「家庭が基本」という父の言葉を思い出したんです。家庭がうまくいかない、仕事もうまくいかない、と。父はかなり忙しくて、休みは日曜日しかなくらいだったので、そんな中でも僕たちきょうだいと遊んでくれていま

した。

そんなことを考えている時に三女が生まれて、ベスト・ファーザー賞の受賞が決まって。仕事が忙しくて正直、パンク寸前だったのですが、授賞式で思わず「育児取ります！」って言っちゃいました。復帰しても仕事ないぞ、と言われたりもしたのですが、なんとなかなでしょ！と樂觀視していたら本当になんとかになりました。当時は男性の育児取得ということで話題になったのですが、自分が取りたくて取っただけなのに、反響が大きくてびっくりしましたね。

育児中は、掃除、洗濯、買い出し、夕飯作りなど、家事全般を行っています。子どもたちの弁当作りも妻に教えてもらって、とっても楽しかったです。

最初の2〜3週間は何かもかが新鮮で、楽しく過ごしていたのですが、その後だんだんつらくなってきた。家事をやっても誰にも評価されない、

人に会えない、毎日同じことの繰り返し…。お母さんって大変だ！って本当に実感しました。この経験のおかげで妻の気持ちを分かることができたので、夫婦仲はさらに良くなりました。

5人目の次男が生まれた時にも1か月間の育児を取り、その間の気付きをノートにまとめていたんです。この育児ノートをブログに載せたら、コメントが2万件もつきましました。お母さんたちは自分を理解してくれる人を求めているんだと強く感じました。

**藤沢市在住ですが、お仕事が都内だと遠くないですか。**

通勤が大変だと思ったことはないですね。家族が多いこともあり、普段自分の時間はほとんどないので、通勤は自分のために使える貴重な時間になっています。この距離のおかげで、

仕事とプライベートをしっかりと分けて過ごすことができるようになりました。

藤沢はもともと、デートの時に妻とよく遊びに行っていたんですよ。自然があつて、海がきれいで：いつか住めたらいいなあと思っていたので、良い物件が見つかったタイミングですぐに引越してしまいました。

引越したばかりの頃、長女が肺炎になってしまい困っていたら、近所の方が「他の子の面倒は見ておくから病院に行ってください。僕に言ってくれたんです。僕は、子育ては親がするものだと思っていたのですが、この出来事があってからは地域でするものだと思うようになりました。自分自身も地域のために何かしなきゃ、と。

今では地域のパパ・ママ友とみんなでキャンプに行ったり、サーフィンをしたり、藤沢ならではの地域での付き合いや子育てを楽しんでいます。仕

事以外のつながりを持つのがこのまちの魅力です。子どもがきっかけとなった出会いやつながりに感謝してますし、正直、子ども以上に楽しんでます。今後は、大好きなこのまちを盛り上げていくことが目標ですね。

**家事や育児初心者男性へアドバイスをお願いします。**

1人目の子どもが生まれた直後が今後の夫婦関係

を築く大事な時期ですよ。不慣れでも、家事や育児をすることで相手の気持ちや理解できるし、理解することで夫婦の仲もより深まると思います。

子育ては人類が生まれてから何億年もやってることだから、そんなに心配しなくて大丈夫。心配はキリがありませんから。大切なのは「信頼」。自分や夫婦、子どもを信頼すること、もっと広い視点でいろいろなものが見えてくると思いますよ。





# まちに出かけよう ～みんなの寄合い処～

高齢者、子ども、子育て中の母親など、各世代での孤立化が問題になっています。  
気軽に出かけて行って、交流したり、楽しめたり、情報交換できたりする居場所はあるでしょうか。  
まちで見かけた「寄合い処」に出かけてみました。



## ふじのきさん家

ふじのきさん家は、NPO法人燃えなない壊れないまち・すみだ支援隊が運営する、平成25年3月にオープンした「防火・耐震改修のモデルルーム」及び「寄合い処」です。

墨田区北部地域は、災害時に火災、倒壊の危険性が大変高い木造密集市街地となっており、ふじのきさん家はこうした地域の防災まちづくりを進めるために開設しました。墨田区は昭和54年より不燃建築物への建て替えを促進してきましたが、建物の防災化はまだまだ不十分な状態です。建替えだけでなく、改修を通じた建物の防火・耐震化促進を図るため、モデル改修事例づくりを目指していたところ、町内会女性部といった地域の方々や専門家などが連携・協議を行う中で、地域の篤志家から空家の提供がありました。これを防火・耐震化改修することによって、地域の拠点として整備・運営を行うこととなりました。

施設の改修と運営に向けた協議で見えてきた問題の一つが、地域の高齢化、それに伴う高齢者の独居、孤立化です。そこで、改修した空き家に見学可能な防火・耐震化モデルの役

割と、そうした高齢者の方が集える場所となるよう、寄合い処の役割をあわせ持たせることになりました。

そして、平成27年7月には、より多くの人たちに利用してもらうことを目的に、寄合い処をカフェスタイルに改装し「ふじのきカフェ」をオープンしました。

ふじのきさん家は、防災意識の啓発、地域のネットワークづくりを支援するため、高齢者向けの講習会や、無料建築相談、コミュニティキッチン、ふじのき音楽倶楽部など、いろいろなイベントを主催したり、ふじのきカフェなど、寄合い場所の提供を行っています。認知症の方がイベントに参加するのを楽しみにしたり、ふじのきさん家の運営に関わった方が再び健康になったりと、社会と関わりをもつことが、元気を取り戻すきっかけとなっています。



### 問い合わせ先

住所：墨田区東向島 2-4-3  
電話：03-6657-2300  
開所日：火～土曜日 10時～17時

### 主なイベント

#### ふじのきカフェ

毎週水・金曜日、限定20食の予約制定食。和洋女子大学の柳沢幸江教授監修による、栄養満点の食事を楽しむことができます。また、毎週火・木・土曜日はカフェなど簡単な飲食ができます。

#### コミュニティキッチン

子育て世代対象のクッキングイベント。一緒に料理を作って食べるという共同作業を通して、近隣の人たちと交流することを目的としています。

#### 見守りDAY

高齢者を対象に月一回。防災などに関する講座や他世代と交流できる企画等を行っています。

# キラキラ茶家



キラキラ橋商店街に、誰でも気軽に立ち寄れる無料相談処・お休み処が今年4月にオープンしました。NPO法人すみださわやかネットワークが運営し、福祉関係機関等と協力して連携している様々な活動を展開しています。

キッチンもあり、町会やグループ、団体、サークルへの貸し出しもされており、様々な形で利用できます。

月・水・金曜日はすみださわやかネットワーク(13時~16時)住宅相談や法律相談を実施し、火・木曜日は墨田区社会福祉協議会の職員が(11時~16時)地域福祉プラットフォームとして常駐しています。おもちゃや絵本、囲碁、将棋などが用意されているので、買い物や散歩の途中にふらっと立ち寄って休憩できます。通学路にあるので、放課後に宿題をしていく小学生もよく利用しています。

9月28日に、すみだ食育food ネットを中心に、墨田区社会福祉協議会とNPO法人すみださわやかネットワークが協力をして月に一度開く「街かど食堂」取材しました。大人は300円・子どもは200円を支払い、みんなでカレーを作っています。

食べています。

午後4時30分の開始。玉ねぎを切つて涙を流している子、その涙をふいてあげる姿がまるで祖母のような方。高齢者とオセロをする男の子たち。皆カレーができるまでの時間を、思いの形で楽しんでいました。

できた料理を、子どもが最初に高齢者に配膳し、和やかに食事が始まりました。

参加者は、子どもが22名余り、母親や一人暮らし・高齢者の方々が8名と、その他関係者も加わり大盛況でした。食を通して、世代を超えた交流が見られる場となりました。



## 主なイベント

### 街かど食堂

月一回  
16時30分~19時30分  
大人300円・子ども200円

### 住宅相談

第1~第4水曜日  
13時~15時  
無料

### 法律相談

月一回 不定期  
無料

### 木版画教室

不定期 隔週金曜日  
13時30分~15時30分  
全4回3000円(材料費込み)

### 茶ちゃサロン

毎月第2火曜日  
14時~16時  
無料

だれでも無料で参加できる、ふれあいサロン

### 問い合わせ先

#### キラキラ茶家

住所：墨田区京島  
3-49-18

電話：03-3616-7031

#### 墨田区社会福祉協議会

電話：03-3614-3900

# みどりコミュニティセンター



## 主なイベント

### 地域の語り場「ふらっとも」

毎月第2火曜日  
18時30分~20時 無料

墨田区に関する地域の気になる話題について意見交換をしています。またメンバーが仲間を集めたり、新たに地域に参加をしたいという方向けの案内もしています。時間ができた時に、ふらっと気軽に参加できます。

### スミダスマイルライブ

毎月第4月曜日  
19時~21時 無料

すみだコメディアンネットワークと連携し開催しています。4~6組の芸人さんが様々な漫才やコントなどを披露しています。小学生から80歳代の方まで参加している年代幅が一番広い楽しい会です。

### みどりコミュニティカフェ

毎月第2金曜日  
10時30分~12時 無料

主に60歳以上の方を対象とし「おしゃべりタイム」を中心としたコミュニティカフェです。偶数月はお楽しみ企画として様々な分野から講師を招いています。

### みどりおもちゃサロン

毎月第4水曜日  
10時~15時30分 無料

用意したおもちゃで自由に遊べます。日曜日に「ソラパプロジェクト」も開いています。

### 問い合わせ先

住所：墨田区緑3-7-3  
2階受付  
(1階は緑出張所)  
電話：03-5600-5811



# 本所地域プラザ BIG SHIP

本所二丁目に大きな船を模した建物があります。「BIG SHIP」という愛称は、みんなが乗り込んで未来にこぎだす船という意味を込めて名付けられました。そこで「ランチ&コンサート」が毎月のように開かれています。様々なジャンルの演奏家が出演しており、今回はピアニストの演奏でした。

**500円ランチ&コンサート**を楽しむことができるのでとても人気があり、大勢の方が集まります。毎回、**墨田区の小中学生20名を無料で招待**しているとのことでした。

12時に何うと、一階のイベントスペースで大勢の方がにぎやかに食事をしていました。この日のメニューは、カレーとサラダでした。10人ほどのスタッフで準備をしています。その後、4階のホールに移動してコンサートを鑑賞しました。120人が収容できるホールでしたが、ほとんど全席が埋まる盛況でした。多くの方が友達を誘い合い、とても親しみのある雰囲気音楽を楽しむことができました。

地域プラザは、地域における交流やコミュニティ活動を行う拠点として、三年前に開設されました。施設の構想から地域の方が中心となって検討を行い、現在、地域住民によって組織された一般社団法人が管理運営を担っています。有料のイベントスペースや調理室の他、健康に役立つトレーニング室、また無料で使用できるレクリエーションコーナーなどがあります。レクリエーションコーナーでは、子どもを遊ばせながらお母さん同士が交流しており、他の部屋でも、折り紙教室など様々な活動が行われています。

館長さんは「新しいマンションが増え、新しく墨田区に住む方が増えています。そういう方々にも、地域とのつながりを持てる場所として、気軽に利用していただきたいです。また、すみだの文化を発信する拠点として、様々な事業を企画していますので、たくさんの方にご参加いただけると嬉しいです。」と話していました。

（この文章は上記の文章と重複する内容を含みます）



## 問い合わせ先

住所：墨田区本所 1-13-4  
電話：03-6658-4601  
開館時間：午前9時から午後9時まで

## 各施設の所在地

- ① ふじのきさん家
- ② キラキラ茶家
- ③ みどりコミュニティセンター
- ④ 本所地域プラザ BIG SHIP



みんなで  
行ってみよう





# すずかけひろば

平成 28 年 9 月 24 日 すみだ女性センター

「すずかけひろば」は、すみだ女性センター登録団体と  
協力委員の女性のひろば委員会などからなる実行委員会が企画・運営して開催しています。

## 舞台発表

- 新日本婦人の会墨田支部  
コカリナサークル（コカリナ演奏）
- ジョイア・カント（声楽）
- 朗読サークルQ（朗読）
- てーねん・どすこい倶楽部（歌声喫茶）
- 琴望会（大正琴）

## 展示発表

- あしたの会（活動報告）
- 家庭倫理の会墨田区（活動報告・折り紙）
- 国際交流クッキング（活動報告）
- 新日本婦人の会墨田支部  
（絵手紙・ちぎり絵）
- 墨田区更生保護女性会（活動報告）
- すみだ日本語ボランティア 21（活動報告）
- はまなす（大正琴の紹介）

すみだ女性センター登録団体のみな  
さんが日頃の活動を発表しました。

## 実行委員長挨拶

### 黒澤 多美 さん



「すずかけ」の愛称で親しまれている「すみだ女性センター」は、女性が創造的な地域社会を切り開く活動及び交流の拠点、自立の力を蓄えることのできる場所として開館し、昨年で 25 周年を迎えることができました。

これからも毎年この「すずかけひろば」をとおして、すみだ女性センターをより多くの方に知っていただき、男女共同参画社会の実現に少しでもつなげることができればよいと思います。

## 区長挨拶

### 山本 亨 区長



本日は、満員の会場にびっくりしました。女性のパワーが感じられて大変うれしく思います。先日のリオのオリンピック、パラリンピックでも、私は特に女性の活躍、最後の1秒まであきらめない姿勢、ひたむきに挑戦するまじめさに感動しました。

この墨田区でも、女性がキャリアを積む、子育てをするなど生涯にわたって活躍できるように、しっかりサポートできる区政を目指していきます。

また、区民の皆さんの体験や知恵を若い世代に伝え、人と人が支え合い、助け合う「人 つながる 墨田区」を皆さんと一緒につくっていきます。

## 講演会

未来へ!!

「時代を切り開いた広岡浅子」

講師：日本女子大学

前学長 蟻川 芳子 氏



NHKの連続テレビ小説「あさが来た」が終わって半年たちました。主人公のモデルである浅子は 1849（嘉永2）年に京都の豪商三井家に生まれました。「女子に学問は不要」の時代でしたが、読書好きで学問へのあこがれを持っていました。

結婚してからも、算術や簿記などの勉強に励み、まわりの人たちはそれを認め支えました。

20歳のときには、倒産の危機を迎えた家業を救うために自ら取立

てに出向くなど奮闘し、女性実業家として歩み始めます。炭鉱ビジネスでは、自ら炭鉱に赴き、ピストルを懐に鉱夫たちと起居を共にして監督したと言われています。

その後、銀行、生命保険会社を設立しました。浅子は「人が七転び八起きというなら、自分は九回転んでも十回起き上がる人間になる」という人生訓を得て、**挑戦を**

**続け**ました。明治時代に実業家と

して活躍した浅子は女性に勇気を与えました。

また、女子高等教育の必要性を説く成瀬仁蔵に出会い、大いに共感。1901（明治34）年には、浅子の人脈を駆使した支援が実り、日本初の「女子大学」である日本女子大学が開校しました。

大学では、家政学に自然科学を取り入れ、実験をしたり、実際に働くための実習を取り入れた授業も行われました。浅子も生徒として授業に参加しました。

事業から退いた後は毎夏勉強合宿を行い、参加者からは各分野で活躍する女性が多く誕生しました。

浅子は**大胆な行動力**で、女性の社会的地位向上への道を切り開いたのでした。

（木ノ内）



大韓民国

ファン ユンギョンさん  
Ms. Yungyeong Hwang



国際遠距離の結婚生活の末、日本へ来たというユンギョンさん。韓国の首都ソウルの出身で、来日前から日本にはとても良い印象を持っていたそうです。来日に際して退職しましたが、日本で働くことを目標に日本語を勉強中です。

すみだに暮らす・働く  
外国人に聞きました

# ココミ！ 比較文化論

日本語、英語ともにとっても流ちょうな韓国出身のユンギョンさんと、世界規模の物流会社に勤務しているメキシコ出身のホセさん。

この連載では、それぞれのお国事情から見てくる文化の違いなどを紹介していきたいと思います。

取材協力：ひらがなネット株式会社



メキシコ合衆国  
ホセ ラミレスさん  
Mr. Jose Ramirez

2015年秋に会社の異動で来日したホセさん。メキシコの首都メキシコシティの出身です。輸出入や物流に関わる会社に勤務しています。2014年に日本人の女性と結婚し、2歳の娘さんがいます。



Q 日本での生活や家族について教えてください。

ユンギョンさん：夫は宝石加工の技術を学ぶために私も早く来日していたので、3年ほど遠距離結婚でした。日本の道路は噂通りとてもキレイですね。今は吾妻橋の近くに住んでいるのですが、毎日観

ホセさん：日本人の妻とはメキシコで知り合い、結婚したので、国際結婚はルールが多くて難しい。メキシコと日本それぞれで婚姻届を提出する必要があったので、結婚記念日が2回あるんですよ(笑)。

Q 教育や結婚制度、男女の働き方などについて教えてください。

ユンギョンさん：日本の高校は部活動が盛んですよね。韓国では良い大学・良い企業に入るため、早朝から夜10時くらいまで男女ともに勉強漬けなので、部活動が盛んなのは驚きました。一方で、日本人の市民意識の高さにはとても感動し

ています。  
ホセさん：メキシコでは、かつて教会が教育制度を主導していたので男女別学が多かったのですが、政府の管理下になっ



からほとんどが共学です。公立大学の学費が非常に安いこともあり、都市部の大学進学率は高く、男女比も半々くらいですが、地方では小学校すらも修了できない実態があります。

ユンギョンさん：韓国では結婚しても女性の苗字は変わりません。子どもは父親の苗字を名乗るので、母親だけ苗字が異なります。日本と同様に未婚化、晩婚化が進んでいて、平均的な子どもの人数は2人くらい。韓国人の男性は飲み会や残業が多いのですが、最近、金英蘭法\*という接待を規制する法律ができたので、早く帰れる日が増えるかなと期待しています。子育て支援はあまり充実していないんじゃないかな。そのためか、社会的に成功している女性は未婚者が多いようです。

ホセさん：メキシコでは結婚後も共働きが普通なので、男性も家事や育児を手伝うことが多いです。育児は男女ともに法律で保障されており、男性は5日間休暇を取ることができ

ます。女性については、日本と異なり、企業内で空きポストの補充をしないので、産前産後各6週間の育児後、はすぐ仕事に復帰することが多いようです。

Q 最後にメッセージをお願いします。

ユンギョンさん：来日前から良い印象を持っていましたがやはり日本はキレイ。今後は日本語能力検定試験に合格して、日本で働くことが目標です。

ホセさん：日本では知り合いでないと親しくあいさつをしないのがカルチャーショックでした。メキシコ人は店員とも気軽に話すのが普通なので、文化の違いを楽しみなながら、仕事も子育てもがんばります。



キムヨラン

\* 金英蘭法…正式名称は不正請託及び金品授受の禁止関係法で、2016年9月に施行された。



イクメン

カジダン

# 投稿写真

イクジイ  
也大歓迎!



楽しい休日  
紅芋たるとさん

娘と過ごす休日は、穏やかで良い笑顔をしています♡



三兄弟  
T.Nさん

次男が産まれて、うちの中は男が三人に！三兄弟のつもりで楽しんで育児しています！



頼れるパパ  
キリマンジャロさん

力持ちな頼れるパパ！  
家事も育児もできる男です♪

応募規約

イクメン・カジダンの  
写真を募集しています!!



←区モバイルサイトへは QR コードを読み込んでアクセス  
※接続時にパケット通信料がかかる場合があります。

投稿先

[suzukake@city.sumida.lg.jp](mailto:suzukake@city.sumida.lg.jp)

募集写真  
のテーマ

イクメン/カジダン/イクジイの写真(1年以内に撮影したもの)  
※応募者または、被写体が墨田区内に在住、在勤、在学の方  
※子育て、家事をしている男性(子どもがいない方も可)

応募方法

作品の応募は電子投稿(Eメール)のみです。  
以下の内容を記載し、Eメールで応募してください。

- 1) 写真のタイトル
- 2) 応募者(撮影者)の名前(フルネーム、本名)
- 3) ペンネーム(掲載する際に使用)  
※記載のない場合は、本名を掲載します。
- 4) 写真についての50字以内のコメント
- 5) 被写体との関係(本人/友人/夫など)
- 6) 連絡先(住所、電話番号)

応募について

- メールの件名を、必ず「写真投稿」としてください。
- 写真のデータは2MB以内のJPEG形式をお願いします。
- 被写体1人につき1枚の応募とします。
- 応募1回につき添付する画像は1枚とします。
- 郵送による投稿は受け付けておりません。

注意事項

- 応募作品は、著作権や肖像権、プライバシーを侵害するおそれのないものに限り、写真に写っている方に、必ず承諾を得てください。肖像権その他の権利は、応募者の責任において処理いただいた上でご応募ください。
- 応募作品の著作権は応募者に帰属しますが、応募者は区に対し無制限の使用権を許諾するものとします。(区の他事業等にも使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。)
- 応募が多数の場合は選定のうえ掲載させていただきます。
- 掲載枠の都合上、写真やタイトル、説明文等について、こちらで加筆・修正、トリミングをする場合があります。
- 本応募に起因して生じる損害に付き、区は一切責任を負わないものとします。

## 編集委員からひとこと

日々心痛むニュースに接して、「孤立」という言葉が浮かぶのは私だけでしょうか。

今号では、世代を超えて利用できる地域の寄合い処を訪ねました。設立の経過を伺うなかで、関わっている方々の熱い思いに打たれました。

ランチをしながら話をしたり、イベントに参加した

り、自分の好きなように寛げる場となっています。スタッフの笑顔も印象的でした。普段着でさっと行ける場所だと思います。

あなたも出かけてみませんか！意外に身近な所に、居場所が見つかるかもしれません。

(柿下)

すずかけ編集委員会 「特集」p4～p7「こんにちはすみださん」p12 担当

柿下・川嶋・木ノ内・五井・佐藤・瀬戸・戸嶋・緑川・横山・吉川(五十音順)

すみだ男女共同参画フェスタ

平成28年11月19日(土)に、墨田区女性と男性の共同参画基本条例制定10周年を記念して、「すみだ男女共同参画フェスタ」が開催されました。

第1部 川柳大会表彰式

区内在住・在勤・在学の皆様から、男女共同参画をテーマとして川柳作品を募集しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

最優秀賞

一般の部

宇都宮 義広

小学生の部

大西 月稀

中学生の部

吾嬢 二中1年 木内 姫奈

区長賞

一般の部

織田 敏光

小学生の部

石坂 瑠惟

中学生の部

高橋 通氣

墨田区男女共同参画推進委員会賞

一般の部

平林 久美子

中内 義隆

小学生の部

早川 周

大塚 咲良

大塚 葉

老川 まひろ

佐藤 龍輝

吾嬢 一中1年 岩崎 花梨

吾嬢 二中1年 大津 瑠朗

吾嬢 二中1年 関 萌々香

両国中3年 小野 ありさ

両国中3年 田川 雄大

区民賞

一般の部

もみ パパ

小学生の部

言問小6年 降旗 航

中学生の部

吾嬢 二中1年 岩谷 大樹

入選

一般の部

中村 信雄

小学生の部

齊藤 都

阿部 苑

小林 秀夫

奈良 好康

青木 義男

じゅんじゅん

矢野 彰一郎

(雅 仙)

中澤 護

伊藤 昭雄

長谷川 兼保

(べんちゃん)

早川 和宏

(エネゴリ)

もみ ママ

宮崎 栄一

(松 橋)

小梅小6年 平尾 文乃

小梅小6年 鈴木 愛美

ママチャリもパパが乗ったらババチャリだ 保育士は男の人もいいんだよ

言問小5年 鶴澤 桜

けいさつかん女がやってもかっこいい

言問小5年 石川 凱偉

男がねえらくなるなんてだれきめた?

言問小4年 廣田 美遊

文句ある女だからって関係ない

両国小6年 大賀 太陽

多くの父部署の上司はみな女性

両国小6年 本多 柗太

男子でも家事ができるよなめんなよ!

両国小6年 石岡 波竜

あいぼうとずっと仲よくしましよっね

二寺小4年 堀江 結人

ランドセル赤じゃダメかな男の子

小梅小5年 宮澤 陽奈

すこいなあそうじゃせんたくしてるパパ

両国小6年 西野 健人

男だろ男ってみんな強いのか?

両国小6年 多田 陽奈

お父さん料理大好きいいじゃんか

二葉小4年 斉藤 圭佑

お父さんバシりにされてこまってる

両国小6年 高橋 夏生

みつめてみる前とはちがう家事すがた

両国小6年 藤井 星湖

お母さん家事ができるねたのもしい

両国小5年 菊地 琉空

一人称「僕」ではなくて「私」かな

小梅小5年 松井 絹子

ママとパパ仲良し子よしい空気

両国小5年 大橋 亮介

お父さん台所へ出勤だ

小梅小5年 小林 真生

親たちはなんでもこなすスーパーマン

両国小5年 浅井 悠花

王さまはみんな王さまだれだっつて

二葉小4年 大木 大と

中学生の部

女子だつてやればできるぞ大統領

本所中3年 田村 風花

男だから泣いちゃいけないルールはない

本所中3年 野口 佳恵

男だつて!!泣きたい時があるんだよ!!

本所中3年 山室 佑馬

「女子だから...」女子である人間です

本所中3年 桂 遥来

お昼ご飯うちは兄がつけます

本所中3年 白石 未来

母の日より父の日の方がなんか軽い

本所中3年 島崎 澄也

三年目家事を楽しむ「主夫」の俺

本所中3年 松川 小夏

女だ支えてみせる我家族

本所中3年 中山 一汰

なんでさあ怒られるのは男子なの

本所中3年 山本 寛太郎

男でもなくときはなく女もね

吾嬢 二中1年 宇田川 寧音

女子だけ女子力なくちゃダメですか?

本所中3年 阿部 百恵

男子でしょ?結局おこられる僕

本所中3年 小川 碧月

男だろ男だろって好都合

本所中3年 三浦 貴寿

男子だけ家事の手伝い強いられる

本所中3年 大山 光惟

我が家ではゴキブリ出たら母出勤

本所中3年 安部 柚作

私より家事手伝うのはお兄ちゃん

本所中3年 月岡 美咲

この世から「女のくせ」をなくしたい

本所中3年 藤井 優芽

平成のらいてう達よ立ち上がれ

本所中3年 松原 晴

女子だつて重い荷物は持てますよ

本所中3年 水野 加菜

女子力とはなんのことかな?男子ども

本所中3年 田中 里奈

同じなら「かかあ天下」がなせ起こる

本所中3年 柳谷 歩美

遊園地悲鳴をあげるの僕の方

本所中3年 谷口 大雅



「男女共同参画の視点で防災を考える」  
展示コーナー



川柳大会  
表彰式



掲示された作品と記念写真を撮影

## 当日の様子

男性のスポーツと見られがちであったサッカーを、日本女子代表監督として女子選手を世界レベルの活躍に結び付けた、サッカー日本女子代表前監督の佐々木則夫さんに、チーム育成の秘訣や当時の監督としての熱い思いなど、貴重なお話をしていただきました。当日は、プライベートな出来事もご披露され、また、来場者からの質問に気さくに答えていただくなど、佐々木則夫さんの温かな人柄に触れることができました。さらに、講演会の最後にはスクリーンに監督時代の貴重な映像が映しだされ、会場の皆さんの胸に響く大変有意義な講演会でした。

## 第2部

### 講演会

「目標達成へのプロセス〜繋がる力〜」

佐々木則夫氏

## 平成 28 年度すずかけ大学オープンカレッジのご案内

### 講演会講師

前シンクロ委員長・公益財団法人日本水泳連盟顧問  
**金子 正子**さん

前シンクロ委員長・公益財団法人日本水泳連盟顧問である金子正子さんをお招きします。男女共同参画の視点を交え、女性中心で行われてきたシンクロ界における男子選手指導、女性の後輩への人材育成などについて、お話しいただきます。過去8大会に指導者として歴任した経験やリオ五輪に関することなども伺います。

日 時：平成 29 年 2 月 5 日(日) 午後 2 時から午後 3 時 30 分まで  
会 場：すみだ女性センター(東京都墨田区押上二丁目 12 番 7 号)ホール  
受付開始日：平成 28 年 12 月 21 日(水)  
お申込み方法：すみだ女性センター(03-5608-1771)までお電話ください。  
定 員：150 名 ※定員になり次第締め切らせていただきます。



墨田区男女共同参画推進拠点施設

## すみだ女性センター ~すずかけ~

### 【開館時間】

月曜日～土曜日 午前 9 時～午後 9 時  
日曜日・祝日 午前 9 時～午後 5 時  
〒131-0045 東京都墨田区押上二丁目 12 番 7 号  
セトル中之郷内受付 2 階

電話：03-5608-1771 Fax：03-5608-1770

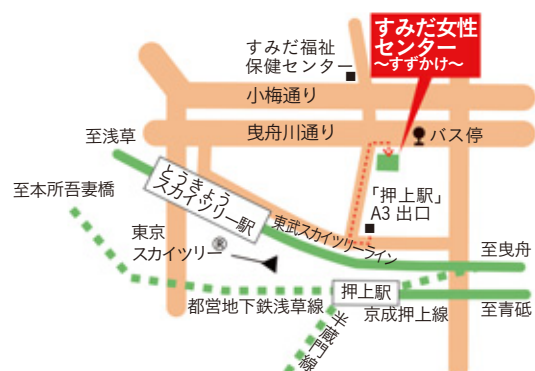
### 【電車の場合】

京成線(都営浅草線)・半蔵門線  
「押上駅」下車 A3 出口徒歩 5 分  
東武スカイツリーライン  
「とうきょうスカイツリー駅」下車  
徒歩 10 分



### 【バスの場合】

都バス(錦40)南千住東口駅—  
錦糸町駅  
「向島三丁目」バス停前徒歩 1 分  
墨田区内循環バス(北西部ルート)  
「女性センター」バス停前下車  
徒歩 1 分



こんにちは  
すみださん

身体表現家

オカザキ

恭和さん

北斎でひろがる  
つながる和



古い町並みを残す墨田区八広、入り組んだ細い路地の一角に「アートスペース yaho.o」があります。町工場を思わせるアルミの引き戸を開けると、土間の先にむき出しの木の梁と白い壁に囲まれた、板敷きの空間が広がっていました。ほのかなハーブの香りに包まれ、オカザキさんのお話を伺いました。

大学卒業後、広告ディレクターとして働きました。ストレス発散に身体を動かしたいと、仕事のかたわらモダンバレエを習い始めました。しばらくして笠井勲さん（舞踏家）のダンスワークショップに参加して衝撃を覚えました。その時点で仕事には達成感があり、今度は自分と、とことん向き合ってみようと思いました。30歳目前で会社を辞め、それまでの貯蓄でダンスにのめり込みました。3年程経った時、当時住んでいた自由が丘で小さなヨガ教室を開きました。

墨田区に移り住んだのは2008年です。すみだは元来ものづくりの町であり、現

代アートも受け入れてくれる土壌があると感じました。もと町工場だった物件を、夫婦で2年かかり手作りで改装しました。オープンは10年の10月、今年で6年になります。すみだに来て、路地で踊る「路地ダンス」等のアート活動も始めました。「yaho.o」ではヨガ教室や、ダンスだけでなく他の分野のアーティストの方々と一緒に様々なイベントを開いています。アーティストも観客も500円支払い、終演後一緒に鍋を囲む「藝&スープ」も何回か開催しています。

12年には「すみだ川アートプロジェクト」で、それまで知らなかった北斎漫画に出会いました。漫画の人物の動きに、ヨガに通じるものを感じ「北斎ヨガ」を考案しました。北斎についても、本で読んだり芸芸員の方に伺ったりして勉強しました。今では、江戸時代の人々の生き方にも共感しています。それは路地や古い家が好きな自分にも通じるものがあります。家の中で外を通る人の声が聞こえ、隣人の気配が感じられる。ここに住んで、何く

れとなく心配して声をかけてくれた大家さんやご近所の方たちに接し、一人ではできないことが人とのつながりで広がっていくと実感しています。

ダンスは身体にダイレクトに響き、生きる力を喚起してくれます。私は「身体智」と呼んでいます。身体は本来のよりよい生き方を教えてくれます。今後「北斎ヨガ」やダンスを通じて身体を動かす、感じる、笑う、人と交わる喜びを伝えていきたいと考えています。40代の私は、心も身体も今までと違う自分に向き合っています。これから、仕事も生活もどう変遷していくのかを楽しんでいきたいと思えます。

「人とのつながりこそ生きていく術、閉じこもって作品を作るより、人との関わりの中でアートを生み出していきたい」と、長寿の愛猫チロちゃんを抱いてゆったりと穏やかに語るオカザキさん。すみだの路地から、素敵なアートが発信されています。

(五井)